日本消化器病学会東海支部第127回例会

第 38 回 教 育 講 演 会

プ ロ グ ラ ム 抄 録 集

会　長　　丹羽康正（愛知県がんセンター中央病院）

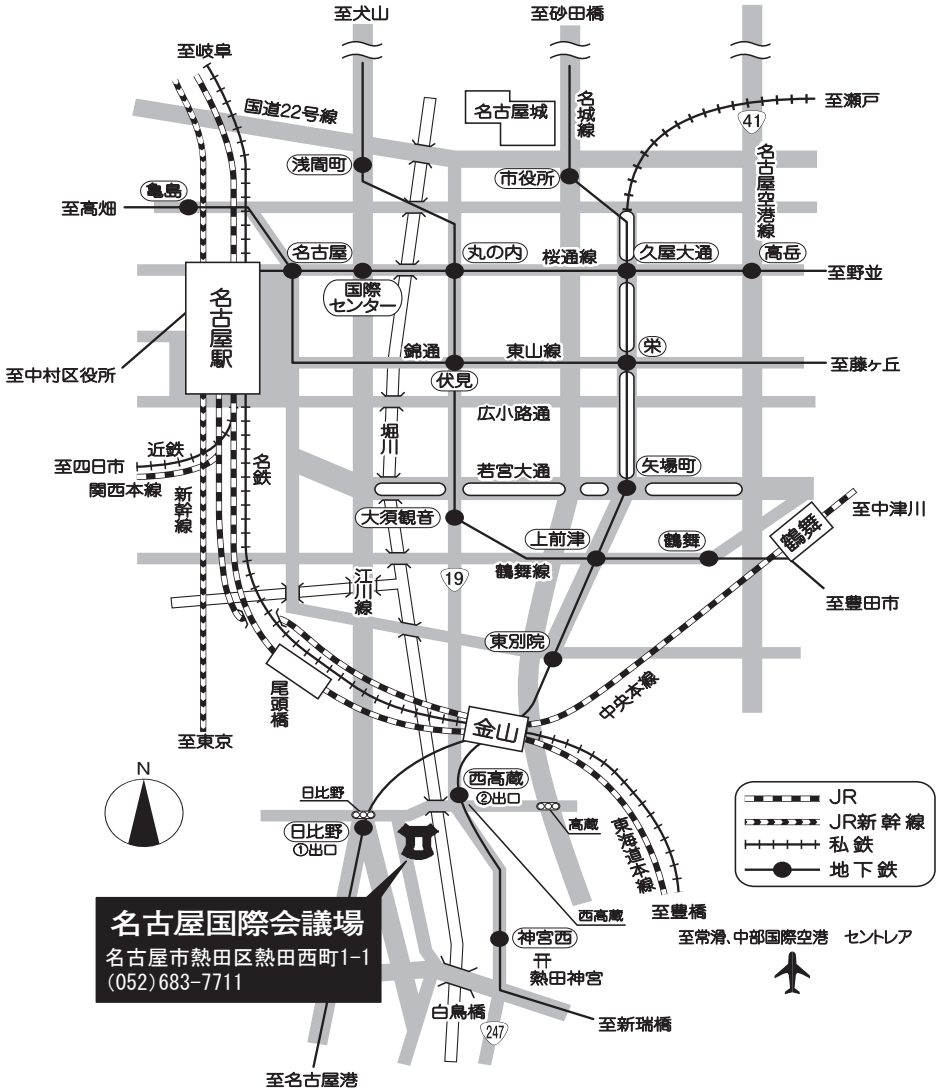
日　時　　平成29年11月11日（土）　午前９時より

会　場　　名古屋国際会議場
〒456-0036　名古屋市熱田区熱田西町1-1
TEL（052）683-7711

参加受付	２号館２Ｆ	ロビー
PC 受付	２号館２Ｆ	ロビー
クローク	２号館１Ｆ	常設クローク
第１会場	２号館３Ｆ	234会議室
第２会場	２号館２Ｆ	224会議室
第３会場	２号館２Ｆ	222＋223会議室
第４会場	２号館１Ｆ	211展示室
第５会場	２号館１Ｆ	212展示室
展示会場	２号館２Ｆ	ロビー
幹事会	２号館３Ｆ	231会議室

（附　第107回市民公開講座プログラム）
平成29年11月12日（日）
愛知県がんセンター中央病院　国際医学交流センター

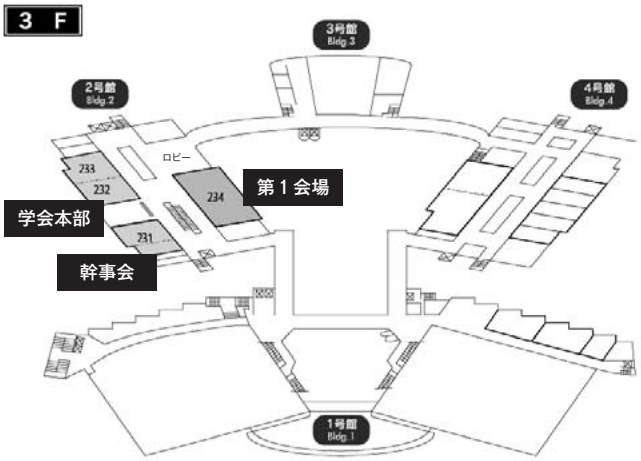
交通のご案内

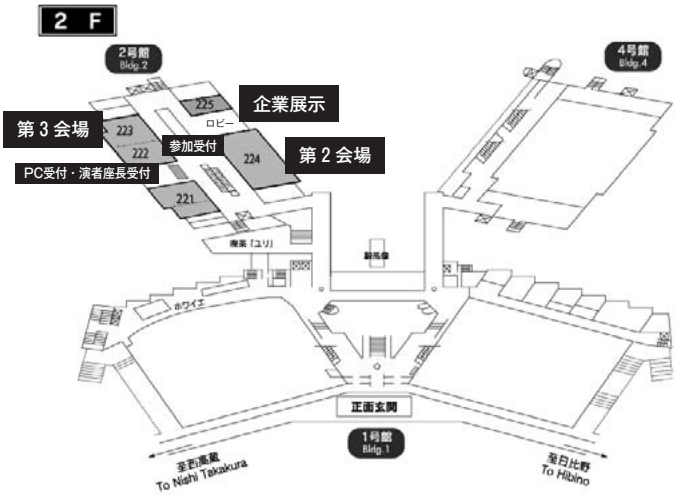


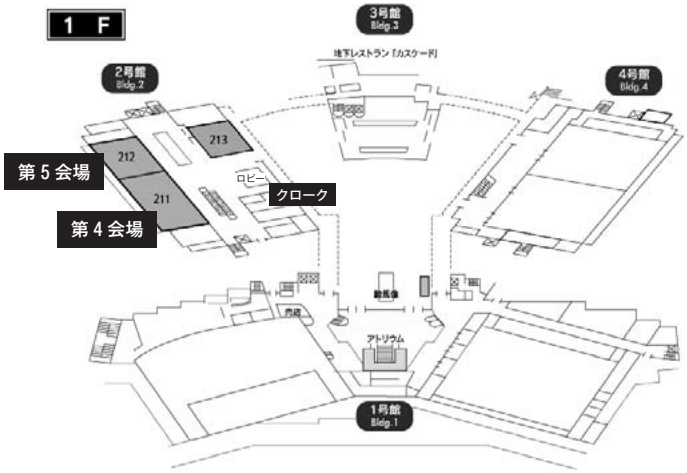
JR 名古屋駅より

■ JR 名古屋駅より、地下鉄東山線「栄」あるいは桜通線「久屋大通」にて、地下鉄名城線にのりかえ、名古屋港行「日比野」または金山・新瑞橋方面左回り「西高蔵」にて下車。会場まで徒歩約５分。JR 名古屋駅より、合計約20分、地下鉄240円。JR 名古屋駅より、タクシーにて約20分、2,500円。

会場のご案内


3 F
3号館
Bldg.3
2号館
Bldg.2
4号館
Bldg.4
ロビー
233
232
231
234
第１会場
学会本部
幹事会
1号館
Bldg.1


2 F
2号館
Bldg.2
4号館
Bldg.4
225
企業展示
ロビー
第３会場
223
222
参加受付
224
第２会場
PC受付・演者座長受付
221
喫茶「ユリ」
ホワイエ
正面玄関
1号館
Bldg.1
To Nishi Takakura
To Hibino


1 F
3号館
Bldg.3
地下レストラン「カスケード」
2号館
Bldg.2
4号館
Bldg.4
213
212
第５会場
ロビー
211
クローク
第４会場
売店
アトリウム
1号館
Bldg.1

プログラム＆会場早見表

	第1会場 3F 234会議室	第2会場 2F 224会議室	第3会場 2F 222+223会議室	第4会場 1F 211展示室	第5会場 1F 212展示室	展示会場 2F ロビー	幹事会会場 3F 231会議室
	受付						
09:00	開会の辞						
09:30	教育講演① 【胃癌】 09:00-10:00 講師：村上和成 司会：城　卓志	09:00-11:20 シンポジウム① 【消化管】 『消化管悪性腫瘍に対する診断と治療の新たな試み』 司会：田中匡介 田近正洋	胆① 09:00-09:28	膵② 09:00-09:35	肝① 09:00-09:28	企業展示 ・ ドリンクサービス	
10:00	教育講演② 【大腸癌化学療法】 10:00-11:00 講師：山田康秀 司会：小寺泰弘		胆② 09:28-10:03	膵③ 09:35-10:10	肝② 09:28-09:56		
10:30			胆③ 10:03-10:38	膵④ 10:10-10:45	肝③ 09:56-10:31		
11:00			膵① 10:38-11:13	膵⑤ 10:45-11:13	肝④ 10:31-10:59		幹事会 10:30-11:30
11:30					肝⑤ 10:59-11:34		
12:00		ランチョンセミナー① 11:40-12:40 講師：飯島克則 司会：後藤秀実 共催：第一三共㈱ アストラゼネカ㈱	ランチョンセミナー② 11:40-12:40 講師：室　圭 司会：吉田和弘 共催：大鵬薬品工業㈱				
12:30							
13:00	評議員会 12:50-13:50		アフターランチセミナー 13:00-13:50 講師：田中智洋 司会：白木　亮 共催：武田薬品工業㈱				
13:30							
14:00	教育講演③ 【胆道・膵臓】 14:00-15:00 講師：廣岡芳樹 司会：梛野正人	14:00-17:00 シンポジウム② 【肝胆膵】 『高齢者に対する肝胆膵疾患の診断と治療』 司会：石上雅敏 原　和生	女性医師支援の会 14:00-14:30	胃・十二指腸① 14:00-14:35	大腸① 14:00-14:35		
14:30			専門医セミナー 14:30-16:00	胃・十二指腸② 14:35-15:17	大腸② 14:35-15:10		
15:00	教育講演④ 【肝臓】 15:00-16:00 講師：竹井謙之 司会：吉岡健太郎			胃・十二指腸③ 15:17-15:59	大腸③ 15:10-15:52		
15:30							
16:00	食道① 16:00-16:21		小腸① 16:00-16:28	胃・十二指腸④ 15:59-16:34	大腸④ 15:52-16:27		
16:30	食道② 16:21-16:49		小腸② 16:28-16:49	その他② 16:34-17:02	大腸⑤ 16:27-17:02		
17:00	その他① 16:49-17:10						
	閉会の辞						
17:30							

お知らせ・お願い

日本消化器病学会東海支部例会参加費（1,000円）のご案内　8：30～

参加費と引き換えにネームカード（兼領収証）、専門医更新単位登録票（5単位）と抄録集をお渡しいたします。

教育講演会参加費（1,000円）のご案内

参加費と引き換えにネームカード（兼領収証）、専門医更新単位登録票（午前9単位、午後9単位）をお渡しいたします。
※教育講演への参加は、会場整理費（学会参加証）の受付が必須です。
　教育講演会のみの受付は出来ません。

評議員会のご案内

日時：平成29年11月11日（土）12：50～13：50
会場：2号館3階　234会議室（第1会場）
※昼食の用意はございません。ランチョンセミナーなどで昼食をお取りください。

シンポジウム司会者・一般演題座長へのご案内

ご担当いただきますセッション開始20分前までに「座長受付」にお立ち寄りください。ご来場の確認をさせていただきます。
※各会場とも計時はいたしませんので、時間厳守でお願いします。

シンポジウム・一般演題演者へのご案内

シンポジウム①（消化管）	口演7分	質疑応答3分	総合討論なし
シンポジウム②（肝胆膵）	口演7分	質疑応答3分	総合討論なし
	（追加演題は、口演5分　質疑応答2分）		
一般演題	口演5分	質疑応答2分	

※「演者受付」にて「若手（研修医）」もしくは「若手（専修医）」の最終確認をさせていただきます。
※ご発表のセッション開始30分前までに「PC受付」にて試写を済ませてください。
※スライド枚数に制限はありませんが、発表時間を厳守してください。
※各会場とも液晶プロジェクターでの1面映写です。
※光学式スライド、ビデオデッキなどの用意はございません。（音声出力不可）

専門医セミナーのご案内

参加費は無料です。参加受付時に専門医更新単位登録票（3単位）をお渡しいたします。
セミナー開始前に単位受付にて登録票に捺印いたします。

発表要領

ご発表の先生方へ

PC を使用したご発表のみとさせていただきます。
ご発表データの受付は、原則として USB フラッシュメモリとさせていただきます。
※バックアップ用の CD-R もご持参いただくことをお勧めいたします。

ご発表用データ作成上の留意点

・USB メモリーまたは CD-R でのデータ持ち込みによるご発表

1．事務局として用意します PC は Windows 7、プレゼンテーションソフトは Power Point です。
2．メディアを持ち込む場合は、Windows 版 Power Point で作成されたデータのみといたします。（Power Point に標準で搭載されているフォントをご使用ください。）
3．Mac のデータは Windows 上での位置のずれや文字化けなどの不具合が生じることが多いため、本体持ち込みを推奨します。各自、Windows 上での作動確認と、Windows 用にデータ変換を行った上でのご用意をお願いします。
4．動画（movie file）がある場合には、各自の PC を持ち込んでのご発表をお願いします。
5．液晶プロジェクターの出力解像度は、XGA（1024×768）に対応しております。
6．音声出力は使用できませんので、ご了承ください。

・PC または iPad などの持ち込みによるご発表

1．液晶プロジェクターとの接続は、デバイス本体にミニ Dsub15ピン外部出力コネクターが使えるものに限ります。薄型 PC では特殊なコネクター形状になっているものもありますので、必ず付属の変換アダプターを予めご確認の上ご用意をお願いします。
2．発表中又はその準備中にバッテリー切れになることがありますので、ご発表には付属の AC アダプターをご用意ください。
3．発表中のスクリーンセーバーや省電力機能での電源がきれないように、設定のご確認をお願いします。
4．音声出力は使用できませんので、ご了承ください。

・データ及び PC の受付・その他

1．事務局で用意しますキーボード、マウスを使用し、発表者ご自身で操作してください。
2．データ保存する前に必ずウイルスチェックを行ってください。
3．各自ご発表の30分前までに PC 受付にて、演題受付及び動作確認をしてください（なるべく受付予定時間よりも早めにお願いします）。
4．発表者ツールはご使用になれません。

シンポジウム・共催セミナーのご案内

シンポジウム１　テーマ「消化管悪性腫瘍に対する診断と治療の新たな試み」
会　場：第２会場
時　間：9：00〜11：20
司　会：三重大学医学部附属病院　光学医療診療部　田中　匡介
　　愛知県がんセンター中央病院　内視鏡部　田近　正洋

シンポジウム２　テーマ「高齢者に対する肝胆膵疾患の診断と治療」
会　場：第２会場
時　間：14：00〜17：00
司　会：名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学　石上　雅敏
　　愛知県がんセンター中央病院　消化器内科　原　和生

ランチョンセミナー１　「ヘリコバクターピロリ陰性時代の酸関連疾患」
会　場：第２会場
時　間：11：40〜12：40
講　師：秋田大学大学院医学系研究科　消化器内科学・神経内科学　飯島　克則
司　会：名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学　後藤　秀実
共　催：第一三共株式会社・アストラゼネカ株式会社

ランチョンセミナー２　「胃癌薬物療法の新展開」
会　場：第３会場
時　間：11：40〜12：40
講　師：愛知県がんセンター中央病院　薬物療法部　室　圭
司　会：岐阜大学大学院医学系研究科　腫瘍外科学　吉田　和弘
共　催：大鵬薬品工業株式会社

アフターランチセミナー　「食物の消化・吸収・体内分配を制して、
肥満症・肥満合併糖尿病に挑む」
会　場：第３会場
時　間：13：00〜13：50
講　師：名古屋市立大学大学院医学研究科　消化器・代謝内科学　田中　智洋
司　会：岐阜大学大学院医学系研究科　消化器病態学　白木　亮
共　催：武田薬品工業株式会社

第14回専門医セミナーのご案内

会　場：第３会場
時　間：14：30～16：00

司　会：愛知県がんセンター中央病院　　丹羽　康正

『新専門医制度の理解のために』

平成29年10月に基本領域のプログラムが開示され、平成30年４月より日本専門医機構が主導する「新専門医制度」が開始されます。新専門医制度は短期間に設定されたため、すべての医師が十分に理解しているとは言えない現状です。今後も修正が予想されますが、現時点で判明している基本領域の内科学会および外科学会の専門医制度とサブスペシャリティ領域である消化器病学会、肝臓学会の専門研修基準をご紹介し、より運用しやすい研修システムを目指して議論したいと思います。

１．愛知県がんセンター中央病院　　丹羽　康正

⑴ 基本領域内科学会の専門研修プログラム整備基準
⑵ サブスペシャリティ領域消化器病学会の専門研修基準（内科系）
⑶ プログラム制とカリキュラム制の違い

２．東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学　肝胆膵外科　　長谷川　潔

基本領域外科学会の専門研修プログラム整備基準

３．東京大学医科学研究所　先端医療研究センター感染症分野
東京大学医学部附属病院　感染免疫内科　　四柳　　宏

サブスペシャリティ領域　肝臓学会の専門研修プログラム整備基準

４．質疑応答

第38回教育講演会のご案内

会　場：第１会場
時　間：９：00～16：00

教育講演１　「ピロリ菌感染と胃癌の最近の話題」
講師：大分大学医学部　消化器内科学　村上　和成
司会：名古屋市立大学大学院医学研究科　消化器・代謝内科学　城　卓志

教育講演２　「大腸癌化学療法の最新知見」
講師：浜松医科大学　臨床腫瘍学　山田　康秀
司会：名古屋大学大学院医学系研究科　消化器外科学　小寺　泰弘

教育講演３　「膵疾患診療の話題
（IPMN の診療と超音波エラストグラフィーを用いた膵疾患の診断）」
講師：名古屋大学医学部附属病院　光学医療診療部　廣岡　芳樹
司会：名古屋大学大学院医学系研究科　腫瘍外科学　梛野　正人

教育講演４　「アルコール性肝障害と NAFLD：代謝に回帰する肝臓病学」
講師：三重大学大学院医学系研究科　消化器内科学　竹井　謙之
司会：藤田保健衛生大学　肝胆膵内科　吉岡健太郎

※専門医更新単位
午前の部９単位、午後の部９単位です。
参加費は午前・午後合わせて 1,000円（午前または午後のみの参加でも 1,000円）です。
午前の部の受付（ 8:30-11:00）
午後の部の受付（13:30-16:00）

第107回市民公開講座のご案内

日　時：平成29年11月12日（日）　13：00～16：00
会　場：愛知県がんセンター中央病院　国際医学交流センター
司　会：愛知県がんセンター中央病院　院長　丹羽　康正
　　愛知県がんセンター中央病院　消化器内科　原　　和生

おなかのがん
―何を食べたらいい？どうしたら予防できるの？
早く見つけるのはどうする？―

13：00～13：40　「がんを予防する」
講師：愛知県がんセンター研究所 遺伝子医療研究部
松尾恵太郎

13：40～14：05　「胃がんとピロリ菌について」
講師：愛知県がんセンター中央病院 内視鏡部　田近　正洋

14：05～14：45　「大腸がんを予防する生活習慣とは」
講師：京都府立医科大学 分子標的癌予防医学　石川　秀樹

14：45～15：10　「膵がんに関する最近の話題」
講師：愛知県がんセンター中央病院 消化器内科　原　　和生

15：10～15：35　「肝がんについて知っておきたいこと」
講師：愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR 部
稲葉　吉隆

15：35～16：00　質疑応答

シンポジウム　プログラム・抄録

お断わり：原則的に講演者が入力したデータをそのまま掲載しておりますので、一部に施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。

シンポジウム 1

第 2 会場　　9 :00～11:20

司　会：三重大学医学部附属病院　光学医療診療部　　田中　匡介
愛知県がんセンター中央病院　内視鏡部　　田近　正洋

「消化管悪性腫瘍に対する診断と治療の新たな試み」

S1-1　表在型食道癌に対する内視鏡治療前評価における FDG-PET の有用性の検討
[1]愛知県がんセンター中央病院　消化器内科部、[2]愛知県がんセンター中央病院　内視鏡部
○鳥山　和浩[1]、石原　誠[2]、田近　正洋[2]

S1-2　胃腫瘍の画像強調併用拡大内視鏡診断における全焦点画像生成技術の応用
名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学
○松井　健一、宮原　良二、後藤　秀実

S1-3　胃腫瘍性病変認識における LCI の有用性の検討
朝日大学歯学部附属村上記念病院　消化器内科
○安田　剛士、八木　信明、尾松　達司

S1-4　ニードル型共焦点レーザー内視鏡による消化管粘膜下腫瘍の生体内組織診断の可能性
[1]藤田保健衛生大学病院　消化管内科、[2]藤田保健衛生大学病院　肝胆膵内科
○寺田　剛[1]、橋本　千樹[2]、大宮　直木[1]

S1-5　CT Colonography を用いた大腸悪性腫瘍の診断
医療法人山下病院　消化器内科
○芳川　昌功、服部　昌志、松崎　一平

S1-6　当院における食道 MM/SM1癌に対する治療成績と今後の展望
岐阜大学医学部附属病院　第一内科
○小澤　範高、荒木　寛司、清水　雅仁

S1-7　Magnetic anchor-guided ESD
医療法人山下病院　消化器内科
○山内　浩揮、松崎　一平、服部　昌志

S1-8　散布機能付き低価格先端系ナイフの開発
[1]市立四日市病院　消化器内科、[2]杉浦医院
○小林　真[1]、杉浦　寧[2]、矢野　元義[1]

S1-9　当院における腹腔鏡内視鏡合同手術（laparoscopic endoscopic cooperative surgery；LECS）の検討

豊橋市民病院　消化器内科

○田中　仁、坂巻　慶一、浦野　文博

S1-10 大腸 ESD におけるトラクション法－けん引クリップ（S-O clip）の使用経験－

岐阜県総合医療センター　消化器内科

○山崎　健路、中西　孝之、杉原　潤一

S1-11 当院における大腸ステント治療の有効性と問題点

愛知県がんセンター愛知病院　消化器内科

○藤田　孝義、近藤　真也、側島　友

S1-12 高齢者限局期原発性胃 DLBCL における化学療法単独の治療成績

[1]三重大学医学部附属病院　光学医療診療部、[2]三重大学医学部附属病院　消化器・肝臓内科

○竹内　俊文[1]、田中　匡介[1]、竹井　謙之[2]

S1-13 リツキシマブ世代における胃原発 diffuse large B-cell lymphoma（DLBCL）の予後予測モデル

[1]名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学、

[2]名古屋大学大学院医学系研究科　臓器病態診断学

○石川　恵里[1]、中村　栄男[2]、後藤　秀実[1]

S1-14 当院での切除不能進行・再発胃癌に対する Ramucirumab の使用成績

名古屋市立大学病院　消化器・代謝内科

○野尻　優、志村　貴也、片岡　洋望

シンポジウム2

第2会場　　14:00～17:00

司　会：名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学　　石上　雅敏
愛知県がんセンター中央病院　消化器内科　　原　　和生

「高齢者に対する肝胆膵疾患の診断と治療」

S2-1　当院における75歳以上の高齢者に対するDAA治療成績
豊橋市民病院　消化器内科
○山本　崇文、内藤　岳人、浦野　文博

S2-2　超高齢C型慢性肝炎症例に対するDAA治療効果の検討
追加演題　小牧市民病院　消化器内科
○倉田　祥行、舘　佳彦、平井　孝典

S2-3　後期高齢者のC型肝炎に対するsofosbuvir-based therapyの肝機能改善効果と脂質代謝に及ぼす影響
追加演題　名古屋市立西部医療センター　消化器内科
○木村　吉秀、土田　研司、妹尾　恭司

S2-4　高齢者のNAFLD診療にFIB4 indexは有用か？
[1]愛知医科大学内科学講座　肝胆膵内科学、
[2]京都府立医科大学附属北部医療センター　消化器内科、
[3]Japan Study Group of NAFLD（JSG-NAFLD）
○角田　圭雄[1、3]、石破　博[2、3]、米田　政志[1、3]

S2-5　高齢肝細胞癌患者における臨床的特徴と予後
名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学
○山本　健太、石上　雅敏、後藤　秀実

S2-6　超高齢者の総胆管結石症の特徴と治療方針
大同病院　消化器内科
○宜保　憲明、菊池　正和、野々垣　浩二

S2-7　当院での85歳以上の超高齢者に対する胆管結石の治療についての検討
大垣市民病院　消化器内科
○犬飼　庸介、金森　明、熊田　卓

S2-8　当院における85歳以上の超高齢者の総胆管結石症に対するERCPの検討
追加演題　安城更生病院　消化器内科
○青木　聡典、林　大樹朗、竹内　真実子

S2-9　高齢者総胆管結石症における EST と EPBLD の早期及び後期偶発症の比較

岐阜県総合医療センター　消化器内科

○岩田　圭介、安藤　暢洋、杉原　潤一

S2-10 当院における高齢者の巨大総胆管結石に対する EPLBD と EST の治療成績の検討

追加演題　岐阜市民病院　消化器内科

○三田　直樹、岩佐　悠平、向井　強

S2-11 後期高齢者胆管炎に対する内視鏡的胆道ドレナージの有用性・安全性

追加演題　高山赤十字病院　消化器内科

○奥野　充、高田　淳、白子　順子

S2-12 当院における超高齢者（85歳以上）に対する ERCP の現状

追加演題　朝日大学歯学部附属村上記念病院　消化器内科

○黒部　拓也、大洞　昭博、八木　信明

S2-13 高齢者手術困難急性胆嚢炎に対する内視鏡的胆嚢“インサイド”ステント留置術

愛知医科大学　肝胆膵内科

○井上　匡央、伊藤　清顕、米田　政志

S2-14 当院における高齢者急性胆嚢炎の検討

藤枝市立総合病院　消化器内科

○星野　弘典、大畠　昭彦、丸山　保彦

S2-15 悪性胃十二指腸狭窄に対する best supportive care としての胃十二指腸ステント留置の有用性と安全性

名古屋市立大学大学院医学研究科　消化器・代謝内科学

○堀　寧、内藤　格、林　香月

S2-16 高齢膵癌患者に対する治療選択と予後－当院における現状－

半田市立半田病院　消化器内科

○杉本　啓之、森井　正哉、大塚　泰郎

S2-17 80歳以上の高齢膵癌患者に対する治療成績

[1]愛知県がんセンター中央病院　消化器内科、

[2]愛知県がんセンター中央病院　消化器外科

○松本　慎平[1]、清水　泰博[2]、原　和生[1]

S2-18 高齢者における切除不能膵癌に対するゲムシタビン＋ナブパクリタキセル併用療法の検討

追加演題　岐阜県立多治見病院　消化器内科

○鈴木　雄太、水島　隆史、奥村　文浩

S2-19 高齢者の転移性膵癌に対する GEM+nab-PTX 療法の有用性・安全性の検討

追加演題　　岐阜大学医学部附属病院　第一内科

○吉田　健作、岩下　拓司、清水　雅仁

S2-20 経腹壁超音波検査における高輝度膵と病理学的線維化・脂肪化の加齢性変化について

[1]名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学、

[2]名古屋大学医学部附属病院　光学医療診療部

○小屋　敏也[1]、廣岡　芳樹[2]、後藤　秀実[1]

一般演題　プログラム

お断わり：原則的に講演者が入力したデータをそのまま掲載しておりますので、一部に施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。

一　般　演　題

第１会場

16:00～16:21　食道①

座長　愛知県がんセンター中央病院　内視鏡部　　田中　努

01　保存的加療で軽快したサンポール服用による腐食性食道炎・胃炎の1例

若手　半田市立半田病院

（研修医）　○原　千尋、浅井　裕充、森井　正哉、杉本　啓之、廣瀬　崇、鈴木　智彦、野浪　大介、大塚　泰郎

02　ダビガトラン起因性食道炎の1例

名古屋第一赤十字病院　消化器内科

○青井　広典、春田　純一、山口　丈夫、土居崎　正雄、鷲見　肇、村手　健太郎、橋口　裕樹、吉岡　直輝、大橋　彩子、河村　達哉、高野　宏平、八田　勇輔

03　保存的治療で自然消失した食道嚢胞の一例

若手　静岡済生会総合病院　消化器内科

（専修医）　○土屋　学、山口　晴雄、日比　知志、八鹿　潤、原　裕貴

16:21～16:49　食道②

座長　名古屋第一赤十字病院　消化器内科　　春田　純一

04　食道肉腫に対する緩和的放射線治療が奏功した1例

若手　名古屋市立西部医療センター　消化器内科
（専修医）　○田中　翔、野村　智史、妹尾　恭司、土田　研司、木村　吉秀、森　義徳、
平野　敦之、小島　尚代、尾関　智紀、山東　元樹、内田　絵里香、寺島　明里

05　食道胃接合部に発生した異所性膵癌の1例

[1]名古屋大学大学院医学系研究科　腫瘍外科、
[2]名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科
○檜垣　栄治[1]、深谷　昌秀[1]、宮田　一志[1]、浅井　宗一郎[1]、山崎　公稔[1]、
江畑　智希[1]、横山　幸浩[1]、國料　俊男[1]、角田　伸行[1]、伊神　剛[1]、菅原　元[1]、
上原　圭介[1]、水野　隆史[1]、山口　淳平[1]、尾上　俊介[1]、相場　利貞[1]、
宮原　良二[2]、後藤　秀実[2]、梛野　正人[1]

06　Barret 食道癌の EMR 後に10年経過し再発した神経内分泌細胞癌の1例

若手　静岡市立静岡病院　消化器総合センター　消化器内科
（専修医）　○早川　諒祐、木村　領佑、河合　歩、鈴木　博貴、杉本　崇宰、近藤　貴浩、
黒石　健吾、星野　勝一、濱村　啓介、田中　俊夫、小柳津　竜樹

07　当院における食道異物に対する内視鏡的異物除去術の現状

名古屋第一赤十字病院　消化器内科
○吉岡　直輝、春田　純一、高野　宏平、八田　勇輔、青井　広典、河村　達哉、
大橋　彩子、橋口　裕樹、村手　健太郎、鷲見　肇、土居崎　正雄、山口　丈夫

16:49～17:10　その他①

座長　小牧市民病院　消化器内科　　小原　圭

08　関節リウマチ治療中に、胃・回腸に多発する消化管潰瘍にて発症したEBウイルス感染を伴うメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の1例

若手　小牧市民病院　消化器内科
（専修医）　○渡邉　祥平、宮田　章弘、平井　孝典、舘　佳彦、小原　圭、倉田　祥行、平松　健、古川　陽子

09　膵十二指腸動脈瘤破裂に対し経カテーテル的動脈塞栓術を施行した2例

若手　名古屋記念病院　消化器内科
（専修医）　○杉浦　幸、村上　賢治、杉村　直美、野原　真子、加地　謙太、中舘　功、鈴木　重行

10　ワレンベルグ症候群による嚥下障害に内視鏡的胃瘻造設術（PEG）が有用であった一例

朝日大学歯学部附属村上記念病院　消化器内科
○中畑　由紀、安田　剛士、黒部　拓也、尾松　達司、大洞　昭博、八木　信明、小島　孝雄

一　般　演　題

第３会場

09:00～09:28　胆①

座長　名古屋大学医学部附属病院　消化器内科　　川嶋　啓揮

11　慢性胆嚢炎に肝動脈仮性動脈瘤を併発し、胆道出血をきたした1例

若手　豊川市民病院　消化器内科

（専修医）　○小林　由花、宮木　知克、稲垣　勇輝、的屋　奨、名倉　義人、柴田　俊輔、岩井　朋洋、西　祐二、大山　展、佐野　仁、中村　誠

12　胆嚢腺筋腫症に合併した黄色肉芽腫性胆嚢炎の一例

若手　藤枝市立総合病院　消化器内科

（研修医）　○増田　文郎、大畠　昭彦、吉井　重人、景岡　正信、寺井　智宏、青山　春奈、山本　晃大、星野　弘典、青山　弘幸、矢野　庄悟、丸山　保彦

13　腹痛、高アミラーゼ血症を契機に診断された先天性胆道拡張症の一例

若手　総合病院中津川市民病院

（研修医）　○皆森　俊、山田　弘武、永井　真太郎、長谷川　一成、中野　有泰、亀山　祐行

14　自己免疫性膵炎を合併したIgG4関連硬化性胆管炎の1例

トヨタ記念病院　消化器科

○平井　恵子、鈴木　貴久、高士　ひとみ、三宅　忍幸、村山　睦、高橋　秀和、澤口　洋視

09:28～10:03　胆②

座長　豊橋市民病院　消化器内科　　松原　浩

15　慢性膵炎で膵体尾部切除8年後に残膵切除を行ったIPMNの1例

[1]藤田保健衛生大学坂文種報德會病院　消化器内科、
[2]藤田保健衛生大学坂文種報德會病院　外科・小児外科、
[3]藤田保健衛生大学坂文種報德會病院　病理診断科
○黒川　雄太[1]、乾　和郎[1]、片野　義明[1]、三好　広尚[1]、小林　隆[1]、山本　智支[1]、松浦　弘尚[1]、鳥井　淑敬[1]、細川　千佳生[1]、安江　祐二[1]、大屋　貴裕[1]、堀口　明彦[2]、伊東　昌広[2]、稲田　健一[3]、池田　美奈[3]、近藤　直希[3]

16　卵巣癌胆管転移の1例

浜松医療センター　消化器内科
○大庭　行正、影山　富士人、鈴木　未緒、江上　貴俊、花岡　智彦、淺井　雄介、高鳥　真吾、佐原　秀、栗山　茂、住吉　信一、岩岡　泰志、金岡　繁

17　健診で経年経過を追えた先天性胆道拡張症合併胆のう癌の一例

[1]岐阜赤十字病院　消化器内科、[2]岐阜赤十字病院　外科、
[3]木沢記念病院　病理診断科
○松下　知路[1]、小川　憲吾[1]、鷲見　聡子[1]、杉江　岳彦[1]、高橋　裕司[1]、名倉　一夫[1]、栃井　航也[2]、山田　鉄也[3]

18　経口胆道鏡が術前診断に有用であった胆管内乳頭状腫瘍の1例

若手（研修医）

社会医療法人宏潤会大同病院　消化器内科
○中平　有紀、宜保　憲明、野々垣　浩二、白水　将憲、田島　万莉、金沢　哲広、水野　創太、柳瀬　成希、南　正史、榊原　聡介、菊池　正和、下郷　友弥、印牧　直人

19　組織像および主座の異なる2つの腫瘍が存在した胆管癌の一例

公立西知多総合病院　消化器内科
○春田　明範、石川　英樹、野村　彩、小島　久実、安藤　貴文

10:03～10:38　胆③

座長　大垣市民病院　消化器内科　　金森　明

20　副膵管と総胆管が交通する稀な合流形式を呈した膵管非癒合を伴う先天性胆道拡張症の1切除例

若手　静岡県立総合病院　消化器内科
（研修医）　○高見　拓矢、川口　真矢、浅原　和久、大津　卓也、佐藤　辰宣、増井　雄一、大島　典彦、榎田　浩平、川合　麻実、寺田　修三、遠藤　伸也、黒上　貴史、白根　尚文、大野　和也

21　好酸球性胆道炎の1例

若手　JA 愛知厚生連江南厚生病院　消化器内科
（専修医）　○木下　拓也、佐々木　洋治、吉田　大介、森島　大雅、颯田　祐介、五藤　直也、熊野　良平、佐々木　雅隆、堤　克彦、中川　拓

22　経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）後待機的に胆嚢摘出術を施行した高齢者の気腫性胆嚢炎の1例

若手　[1]桑名西医療センター　内科、[2]桑名西医療センター　外科
（研修医）　○箕浦　真奈美[1]、石田　聡[1]、佐藤　雄基[1]、今井　翔一[2]、糟谷　彰悟[1]、諸岡　留美[1]、泉　道博[1]、西川　隆太郎[2]、登内　仁[2]、藤岡　正樹[2]

23　繰り返す胆嚢動脈瘤破裂に対して2回の動脈塞栓術で止血が得られた1例

若手　豊橋市民病院　消化器内科
（専修医）　○加納　佑一、内藤　岳人、山田　雅弘、松原　浩、山本　英子、坂巻　慶一、植月　康太、松田　宜賢、南　喜之、山本　崇文、高田　善久、田中　仁、浦野　文博

24　スパイグラス胆管膵管鏡システム下電気水圧衝撃波砕石が有用であった総胆管結石の2例

安城更生病院　消化器内科
○鈴木　貴也、林　大樹朗、安藤　雅能、近藤　重明、浅井　清也、青木　聡典、市川　雄平、鶴留　一誠、岡田　昭久、細井　努、竹内　真実子

10:38～11:13　膵①

座長　名古屋市立大学大学院医学研究科　消化器・代謝内科学　　林　香月

25　膵石の副乳頭嵌頓により膵炎を発症した膵管癒合不全の1例

若手　[1]名鉄病院　消化器内科、[2]名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学
（専修医）　○山本　佳奈[1]、竹田　欽一[1]、野坂　光司[1]、大北　宗由[1]、室井　航一[1]、西村　舞[1]、
大林　友彦[1]、西尾　雄司[1]、後藤　秀実[2]

26　強乳糜血清を契機に診断された妊娠に伴う急性膵炎の1例

若手　岐阜県立多治見病院
（専修医）　○浦壁　憲司、貫井　嵩之、石原　亮、鬼頭　佑輔、蓑輪　彬久、鈴木　雄太、
福定　繁紀、羽根田　賢一、尾関　貴紀、安部　快紀、塚本　宏延、水島　隆史、
奥村　文浩

27　自己免疫性膵炎における便中膵エラスターゼの有用性

[1]みよし市民病院　消化器内科、[2]名古屋大学大学院医学系研究科　健康栄養医学
○上野　泰明[1]、成瀬　達[1]、濱田　広幸[1]、伊藤　治[1]、山本　明子[2]、石黒　洋[2]

28　潰瘍性大腸炎の発症を契機に自己免疫性膵炎2型と診断しえた一例

若手　[1]愛知県がんセンター中央病院　消化器内科、
（専修医）　[2]愛知県がんセンター中央病院　内視鏡部
○栗田　裕介[1]、奥野　のぞみ[1]、肱岡　範[1]、水野　伸匡[1]、桑原　崇通[1]、
田近　正洋[2]、田中　勉[2]、石原　誠[2]、平山　裕[2]、大西　祥代[2]、田中　宏樹[1]、
安田　宗司[1]、小畑　雅寛[1]、松本　慎平[1]、倉岡　直亮[1]、伊東　文子[1]、
岩屋　博道[1]、鳥山　和浩[2]、丹羽　康正[2]、原　和生[1]

29　自己免疫性膵炎と鑑別を要したメサラジンによる薬剤性膵炎の1例

[1]刈谷豊田総合病院　内科、[2]刈谷豊田総合病院　病理診断科
○飛田　恵美子[1]、中江　康之[1]、浜島　英司[1]、神岡　諭郎[1]、仲島　さより[1]、
池上　脩二[1]、溝上　雅也[1]、恒川　卓也[1]、山本　怜[1]、竹内　一訓[1]、
宮地　洋平[1]、井本　正巳[1]、伊藤　誠[2]

16:00～16:28　小腸①

座長　名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学　　中村　正直

30　小腸カプセル内視鏡が診断に有用であった空腸動静脈奇形の1例

若手　半田市立半田病院
（専修医）　○野浪　大介、森井　正哉、杉本　啓之、浅井　裕充、廣瀬　崇、鈴木　智彦、大塚　泰郎

31　カプセル内視鏡で小腸出血と診断しダブルバルーン小腸内視鏡にて止血処置を行った原因不明消化管出血（obscure gastrointestinal bleeding；OGIB）の1例

若手　[1]トヨタ記念病院　統合診療科、[2]トヨタ記念病院　消化器科
（研修医）　○加藤　真子[1]、三宅　忍幸[2]、鈴木　貴久[2]、高士　ひとみ[2]、村山　睦[2]、平井　恵子[2]、高橋　秀和[2]、澤口　洋視[2]

32　重複腸管に腸石を合併した一例

若手　[1]名鉄病院　消化器内科、[2]名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学
（研修医）　○野坂　光司[1]、室井　航一[1]、山本　佳奈[1]、大北　宗由[1]、西村　舞[1]、大林　友彦[1]、竹田　欽一[1]、西尾　雄司[1]、後藤　秀実[2]

33　肝外門脈閉塞に伴う胆管空腸吻合部静脈瘤破裂の1例

若手　[1]木沢記念病院　消化器科、[2]木沢記念病院　外科
（専修医）　○千住　明彦[1]、足達　広和[1]、水谷　しの[1]、森　弘輔[1]、宮崎　恒起[1]、吉田　司[1]、安田　陽一[1]、大島　靖弘[1]、杉山　宏[1]、山本　淳史[2]、尾関　豊[2]

16:28～16:49　小腸②

座長　JA 愛知厚生連豊田厚生病院　消化器内科　　都築　智之

34　長期生存が得られている、腹膜播種、肝転移を来した小腸内分泌腫瘍の一例

若手　JA 愛知厚生連江南厚生病院　消化器内科
（専修医）　○熊野　良平、佐々木　洋治、吉田　大介、森島　大雅、颯田　祐介、五藤　直也、木下　拓也、佐々木　雅隆、堤　克彦、中川　拓

35　皮膚筋炎に合併した小腸神経内分泌癌の1切除例

若手　静岡県立総合病院　消化器内科
（研修医）　○東　夏美、佐藤　辰宣、吉川　俊之、浅原　和久、大津　卓也、増井　雄一、榎田　浩平、大島　典彦、川合　麻実、寺田　修三、遠藤　伸也、黒上　貴史、白根　尚文、大野　和也、川口　真矢

36　肝原発悪性リンパ腫と思われた小腸原発悪性リンパ腫の一例

一宮市立市民病院
○岩田　悠嗣、梶原　彰、山中　敏広、水谷　恵至、金森　信一、平松　武、坪内　達郎、谷口　誠治、間下　恵里奈、高田　直樹

一　般　演　題

第４会場

09:00～09:35　膵②

座長　社会医療法人宏潤会大同病院　消化器内科　　野々垣　浩二

37　嚢胞性膵腫瘍との鑑別が困難であった膵尾部副脾に生じた類上皮嚢胞の1例

若手　[1]浜松医科大学　第一内科　消化器内科、[2]浜松医科大学　検査部、
（専修医）　[3]浜松医科大学　救急部、[4]浜松医科大学　光学医療診療部、
[5]浜松医科大学　肝胆膵外科、[6]浜松医科大学　臨床研究管理センター
○稲垣　圭佑[1]、濱屋　寧[1]、山出　美穂子[1]、岩泉　守哉[2]、谷　伸也[3]、魚谷　貴洋[4]、
大澤　恵[4]、柴崎　泰[5]、森田　剛文[5]、坂口　孝宣[5]、古田　隆久[6]、杉本　健[1]

38　画像所見にて膵癌を疑い手術にて切除するも病理所見にて癌が否定された一例

若手　藤田保健衛生大学医学部　肝胆膵内科
（専修医）　○小山　恵司、橋本　千樹、川部　直人、村尾　道人、中野　卓二、菅　敏樹、
中岡　和徳、大城　昌史、倉下　貴光、高村　知希、野村　小百合、
吉岡　健太郎

39　膵サルコイドーシスの1例

社会医療法人財団新和会八千代病院　消化器内科
○三浦　正博、白井　修、氏原　正樹、樋口　俊哉

40　共焦点レーザー内視鏡検査が診断に有用であった膵神経内分泌腫瘍の1例

[1]愛知県がんセンター中央病院　消化器内科、
[2]愛知県がんセンター中央病院　内視鏡部
○小畑　雅寛[1]、原　和生[1]、水野　伸匡[1]、肱岡　範[1]、桑原　崇道[1]、奥野　のぞみ[1]、
田近　正洋[2]、田中　努[2]、石原　誠[2]、平山　裕[2]、大西　祥代[2]、鳥山　和浩[1]、
岩屋　博道[1]、伊東　文子[1]、倉岡　直亮[1]、松本　慎平[1]、安田　宗司[1]、
栗田　裕介[1]、田中　宏樹[1]、丹羽　康正[2]

41　MCN との鑑別が困難であった SCN の一切除例

若手　愛知医科大学　消化器外科
（専修医）　○鈴木　健太、駒屋　憲一、有川　卓、大澤　高陽、金子　健一郎、小松　俊一郎、
石黒　成治、齊藤　卓也、松村　卓樹、倉橋　真太郎、安井　講平、加藤　翔子、
加藤　瑶子

09:35～10:10　膵③

座長　岐阜大学医学部附属病院　第1内科　　岩下　拓司

42　長期化学療法中の膵癌術後の1例

関中央病院　内科

○小木曽　結衣、若原　利達、安江　晃子、吉村　光太郎、植松　孝広、齋藤　雅也

43　Trousseau 症候群を合併した膵癌の1例

若手（専修医）　桑名東医療センター　消化器内科

○山本　あゆみ、舘野　晴彦、着本　望音、野尻　圭一郎、久保　一美、泉　恭代、大森　茂

44　FOLFIRINOX 投与後に肺胞出血を来たした1例

[1]名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学、
[2]名古屋大学医学部附属病院　光学医療診療部

○西尾　亮[1]、廣岡　芳樹[2]、川嶋　啓揮[1]、大野　栄三郎[1]、石川　卓哉[1]、須原　寛樹[1]、竹山　友章[1]、橋詰　清孝[1]、小屋　敏也[1]、田中　浩敬[1]、酒井　大輔[1]、飯田　忠[1]、鈴木　博貴[1]、後藤　秀実[1]

45　腎細胞癌術後34年目に膵転移を来した一例

若手（専修医）　大垣市民病院　消化器内科

○三宅　望、金森　明、桐山　勢生、豊田　秀徳、多田　俊史、谷川　誠、久永　康宏、北畠　秀介、山　剛基、水野　和幸、東堀　諒、犬飼　庸介、竹田　尭、佐久間　理香、熊田　卓

46　FOLFIRINOX 療法後に外科的切除を施行した肝転移を有した膵癌の一例

若手（専修医）　社会医療法人宏潤会大同病院　消化器内科

○金沢　哲広、野々垣　浩二、印牧　直人、菊池　正和、下郷　友弥、榊原　聡介、宜保　憲明、南　正史、柳瀬　成希、水野　創太、白水　将憲、田島　万莉

10:10～10:45　膵④

座長　藤枝市立総合病院　消化器内科　　大畠　昭彦

47　Low-grade PanIN（PanIN2）の1切除例

[1]名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学、
[2]名古屋大学医学部附属病院　光学医療診療部
○田中　浩敬[1]、廣岡　芳樹[2]、川嶋　啓揮[1]、大野　栄三郎[1]、石川　卓哉[1]、
須原　寛樹[1]、竹山　友章[1]、橋詰　清孝[1]、小屋　敏也[1]、酒井　大輔[1]、
飯田　忠[1]、西尾　亮[1]、鈴木　博貴[1]、後藤　秀実[1]

48　左上腹部腫瘤を自覚し発見された膵粘液性嚢胞性腫瘍の1切除例

松阪中央総合病院　外科
○前田　光貴、田端　正己、阪本　達也、藤村　侑、大澤　一郎、加藤　憲治、
岩田　真、三田　孝行

49　胆嚢管に基部を有し胆嚢内、総胆管内腔に著明な乳頭状発育を示した胆嚢癌肉腫の一切除例

三重大学医学部附属病院　肝胆膵移植外科
○市川　健、村田　泰洋、武内　泰司郎、早崎　碧泉、飯澤　祐介、藤井　武宏、
加藤　宏之、種村　彰洋、安積　良紀、栗山　直久、岸和田　昌之、水野　修吾、
臼井　正信、櫻井　洋至、伊佐地　秀司

50　膵管不完全癒合の Wirsung 管尾側端に発症した主膵管型 IPMC の1例

若手
（専修医）
静岡県立総合病院　消化器内科
○佐藤　辰宣、川口　真矢、浅原　和久、大津　卓也、増井　雄一、榎田　浩平、
川合　麻実、寺田　修三、遠藤　伸也、黒上　貴史、白根　尚文、大野　和也

51　SMV 完全閉塞を伴った UR-LA 膵頭部癌に対し、化学放射線治療後に、SMV －副右結腸静脈吻合再建を伴う膵頭十二指腸切除術を施行した1例

[1]名古屋大学大学院医学系研究科　消化器外科学、[2]名古屋セントラル病院
○加藤　吉康[1]、山田　豪[1]、高見　秀樹[1]、末永　雅也[1]、服部　憲史[1]、
丹羽　由紀子[1]、林　真路[1]、神田　光郎[1]、岩田　直樹[1]、田中　千恵[1]、
小林　大介[1]、中山　吾郎[1]、杉本　博行[1]、小池　聖彦[1]、藤原　道隆[1]、
中尾　昭公[2]、小寺　泰弘[1]

10:45～11:13　膵⑤

座長　静岡県立総合病院　肝胆膵内科　　川口　真矢

52　膵癌との鑑別が困難であった膵 IgG4関連疾患の一切除例

鈴鹿中央総合病院

○小倉　正臣、田中　智哉、服部　可奈、大森　隆夫、濱田　賢司、金兒　博司、田岡　大樹

53　特徴的な画像所見を呈した肝吸虫症の一例

豊橋市民病院　消化器内科

○松田　宜賢、松原　浩、浦野　文博、内藤　岳人、山田　雅弘、山本　英子、坂巻　慶一、植月　康太、南　喜之、山本　崇文、高田　善久、田中　仁

54　内視鏡的ネクロセクトミーにて治癒しえた重症急性膵炎後 WON の一例

若手　安城更生病院　消化器内科

（研修医）　○山中　裕貴、林　大樹朗、鈴木　貴也、安藤　雅能、近藤　重明、浅井　清也、青木　聡典、市川　雄平、鶴留　一誠、岡田　昭久、細井　努、竹内　真実子

55　慢性膵炎に急性閉塞性化膿性膵管炎を合併し膵管ステント留置が有効であった一例

若手　鈴鹿回生病院

（専修医）　○梅田　悠平、田野　俊介、結城　麻衣、多喜　裕子、堀池　眞一郎

14:00～14:35　胃・十二指腸①

座長　刈谷豊田総合病院　内科　　神岡　諭郎

56　発作性心房細動に対するアブレーション施行後に急性胃拡張と嗄声を生じた1例

若手　[1]トヨタ記念病院　統合診療科、[2]トヨタ記念病院　消化器科
（研修医）　○物江　真司[1]、鈴木　貴久[2]、高士　ひとみ[2]、三宅　忍幸[2]、村山　睦[2]、
平井　恵子[2]、高橋　秀和[2]、澤口　洋視[2]

57　自然軽快した好酸球性胃腸炎の二症例

若手　鈴鹿回生病院
（専修医）　○結城　麻衣、田野　俊介、梅田　悠平、多喜　裕子、堀池　眞一郎

58　カプセル内視鏡が診断の一助となった好酸球性胃腸炎の1例

若手　社会医療法人宏潤会大同病院　消化器内科
（専修医）　○白水　将憲、野々垣　浩二、印牧　直人、菊池　正和、下郷　友弥、榊原　聡介、
宜保　憲明、南　正史、柳瀬　成希、水野　創太、金沢　哲広、田島　万莉

59　成人の胃軸捻転に対して鮒田式固定具を用いて加療した1例

若手　静岡市立静岡病院　消化器総合センター　消化器内科
（専修医）　○木村　領佑、早川　諒祐、河合　歩、杉本　崇宰、鈴木　博貴、近藤　貴浩、
黒石　健吾、星野　勝一、濱村　啓介、田中　俊夫、小柳津　竜樹

60　十二指腸傍乳頭部憩室出血に対して Gel immersion endoscopy が有用であった1例

若手　聖隷浜松病院　消化器内科
（専修医）　○加藤　敦士、木次　健介、山田　洋介、杉浦　喜一、山中　力行、宮津　隆裕、
海野　修平、瀧浪　将貴、木全　政晴、芳澤　社、室久　剛、清水　恵理奈、
長澤　正道、細田　佳佐

14:35～15:17　胃・十二指腸②

座長　名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学　　舩坂　好平

61　当院の胃内視鏡検診の現状と今後の課題について

みよし市民病院　消化器内科

○濱田　広幸、成瀬　達、伊藤　治、上野　泰明

62　人間ドックで見つかり長期経過を追えた胃底腺型胃癌の一例

[1]国家公務員共済組合連合会東海病院　消化器内科、

[2]名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学

○植月　有希子[1]、末澤　誠朗[1]、山田　健太[1]、田中　達也[1]、北村　雅一[1]、丸田　真也[1]、宮原　良二[2]

63　胃粘膜内癌術後11年目に腹膜播種にて再発した一例

中東遠総合医療センター

○大島　啓嗣、高柳　正弘、小野　幸也、坂井　圭介

64　根治的胃切除術の施行されたpT2-4胃癌における周術期血清腫瘍マーカー値の意義

名古屋大学大学院医学系研究科　消化器外科学

○宇田　裕聡、神田　光郎、稲岡　健一、田中　友里、高見　秀樹、末永　雅也、岩田　直樹、林　真路、田中　千恵、小林　大介、山田　豪、中山　吾郎、杉本　博之、小池　聖彦、藤原　道隆、小寺　泰弘

65　手術不能進行・再発胃がんに対するレンチナン併用化学療法

[1]名古屋記念病院　化学療法内科、[2]名古屋記念病院　消化器科、

[3]名古屋記念病院　血液・化学療法内科

○伊奈　研次[1]、古田　竜一[1]、片岡　孝江[3]、村上　賢治[2]

66　胃癌による髄膜癌腫症に対して髄腔内化学療法を施行した1例

JA愛知厚生連豊田厚生病院　消化器内科

○喜田　裕一、岩下　紘一、伊藤　裕也、竹内　淳史、森田　清、都築　智之

15:17～15:59　胃・十二指腸③

座長　豊橋市民病院　消化器内科　　山本　英子

67　比較的小型であるが、嚢胞変性を示した管外発育型胃原発 GIST の1例

若手　[1]済生会松阪総合病院　内科、[2]済生会松阪総合病院　外科
（専修医）　○田中　隆光[1]、橋本　章[1]、紅林　真理絵[1]、田原　雄一[1]、青木　雅俊[1]、福家　洋之[1]、河俣　浩之[1]、脇田　喜弘[1]、清水　敦哉[1]、奥田　善大[2]

68　肝膿瘍を契機に発見された胃 GIST の一例

中部ろうさい病院　消化器内科
○春田　尚樹、宿輪　和孝、児玉　佳子、柴田　寛幸、龍華　加奈、寺島　佳奈江、村瀬　賢一

69　シスプラチン・エトポシド併用療法により著明な縮小が得られた神経内分泌細胞への分化傾向を示した胃癌の1例

名古屋大学医学部附属病院　消化器内科
○丸川　高弘、宮原　良二、舩坂　好平、古川　和宏、松岡　歩、小林　健一、松井　健一、藤吉　俊尚、小宮山　琢真、細野　功、伊藤　信仁、古根　聡、和田　啓孝、前田　修、廣岡　芳樹、後藤　秀実

70　十二指腸潰瘍を契機に診断された十二指腸ガストリノーマの一例

[1]JCHO 中京病院　消化器内科、[2]JCHO 中京病院　外科
○佐々木　槙子[1]、戸川　昭三[1]、大西　浩史[1]、菅田　亮太郎[1]、越野　顕[1]、金子　望[1]、河辺　健太郎[1]、飛鳥井　香紀[1]、高口　裕規[1]、井上　裕介[1]、河原　健夫[2]、長谷川　泉[1]

71　胃 mixed adenoneuroendocrine carcinoma（MANEC）の1切除例

若手　松阪中央総合病院　外科
（専修医）　○阪本　達也、田端　正己、藤村　侑、前田　光貴、大澤　一郎、加藤　憲治、岩田　真、三田　孝行

72　A 型胃炎に neuroendocrine tumor を合併した1例

若手　浜松医療センター　消化器内科
（研修医）　○松島　萌、栗山　茂、鈴木　未緒、江上　貴俊、花岡　智彦、山田　景子、浅井　雄介、大庭　行正、高鳥　真吾、佐原　秀、岩岡　泰志、住吉　信一、影山　富士人、金岡　繁

15:59～16:34　胃・十二指腸④

座長　朝日大学歯学部附属村上記念病院　消化器内科　　大洞　昭博

73　胃腫瘍との鑑別を要した難治性胃潰瘍の1例

名古屋第一赤十字病院　消化器内科

○大橋　彩子、春田　純一、山口　丈夫、土居崎　正雄、鷲見　肇、村手　健太郎、橋口　裕樹、吉岡　直輝、青井　広典、河村　達哉、高野　宏平、八田　勇輔

74　胃原発の髄外性形質細胞腫の1例

[1]伊勢赤十字病院　消化器内科、[2]紀南病院　内科

○高見　麻佑子[1]、大山田　純[1]、久田　拓央[1]、奥田　奈央子[1]、橋本　有貴[1]、林　智士[1]、野村　達磨[2]、伊藤　達也[1]、杉本　真也[1]、亀井　昭[1]

75　内視鏡的粘膜下層剥離術を行った胃滑膜肉腫の一例

[1]医療法人山下病院　消化器内科、[2]医療法人山下病院　病理科

○山内　浩揮[1]、服部　昌志[1]、松崎　一平[1]、広瀬　健[1]、泉　千明[1]、江崎　正哉[1]、芳川　昌功[1]、横井　太紀雄[2]、中澤　三郎[1]

76　共焦点レーザー内視鏡検査が診断に有用であった迷入膵の1例

[1]愛知県がんセンター中央病院　消化器内科、

[2]愛知県がんセンター中央病院　内視鏡部

○安田　宗司[1]、原　和生[1]、水野　伸匡[1]、肱岡　範[1]、桑原　崇通[1]、奥野　のぞみ[1]、田近　正洋[2]、田中　努[2]、石原　誠[2]、平山　裕[2]、大西　祥代[2]、鳥山　和浩[2]、岩屋　博道[1]、伊藤　文子[1]、倉岡　直亮[1]、松本　慎平[1]、小畑　雅寛[1]、栗田　裕介[1]、田中　宏樹[1]、丹羽　康正[2]

77　Epstein-Barr virus（EBV）関連早期胃癌の1例

若手（研修医）　JA 岐阜厚生連久美愛厚生病院

○中村　太二、横畑　幸司、杉山　和久、杉山　由晃、竹田　尭

16:34～17:02　その他②

座長　岐阜県総合医療センター　消化器内科　　山崎　健路

78　健診腹部エコー検査を契機に発見された未破裂後上膵十二指腸動脈瘤の1例

若手　社会医療法人財団新和会八千代病院

（研修医）　○清原　悠志、白井　修、氏原　正樹、樋口　俊哉、三浦　正博

79　急性腹症を呈した孤立性上腸間膜動脈解離の2例

若手　静岡市立清水病院　消化器内科

（専修医）　○伊藤　達弘、小池　弘太、池田　誉、高柳　泰宏、窪田　裕幸

80　血清 hCG と EUS-FNA にて診断した後腹膜領域の絨毛癌の1例

[1]静岡県立静岡がんセンター　内視鏡科、[2]静岡県立静岡がんセンター　泌尿器科、[3]静岡県立静岡がんセンター　病理診断科

○松林　宏行[1]、石渡　裕俊[1]、松井　徹[1]、藤江　慎也[1]、佐藤　純也[1]、伊藤　紗代[1]、今井　健一郎[1]、堀田　欣一[1]、吉田　将雄[1]、川田　登[1]、田中　雅樹[1]、角嶋　直美[1]、滝沢　耕平[1]、山下　亮[2]、佐々木　恵子[3]、小野　裕之[1]

81　悪性腫瘍との鑑別が困難であった腹部結核性リンパ節炎の一例

若手　公立陶生病院　消化器内科

（専修医）　○長江　翔平、竹中　宏之、平松　拓弥、松田　悠司、佐竹　美芽、河邉　智久、新家　卓郎、松浦　哲生、黒岩　正憲、森田　敬一

一　般　演　題

第５会場

09:00～09:28　肝①

座長　名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学　　葛谷　貞二

82　高齢男性に発症したgenotype Aによる急性B型肝炎の一例

名古屋大学医学部附属病院　消化器内科

○武藤　久哲、横山　晋也、田中　卓、山本　健太、安藤　祐資、伊藤　隆徳、安田　諭、石津　洋二、葛谷　貞二、本多　隆、林　和彦、石上　雅敏、廣岡　芳樹、後藤　秀実

83　ダクラタスビル・アスナプレビル療法によりSVR24を達成したが、その後再燃したC型代償性肝硬変の一例

若手（研修医）　国家公務員共済組合連合会名城病院

○伊藤　悠希、長野　健一、松下　高明、吉崎　道代、小澤　喬、木本　英三、水谷　太郎

84　膵頭十二指腸切除後に脂肪肝を発生した1例

[1]総合上飯田第一病院　消化器内科、[2]総合上飯田第一病院　糖尿病内科

○鈴木　孝弘[1]、城　浩介[1]、小栗　彰彦[1]、小田切　英樹[1]、二口　祥子[2]、山本　由紀子[2]

85　当院におけるエルバスビル／グラゾプレビルの治療成績について

若手（専修医）　豊橋市民病院　消化器内科

○高田　善久、内藤　岳人、山田　雅弘、山本　英子、松原　浩、坂巻　慶一、植月　康太、山本　崇文、南　喜之、松田　宜賢、田中　仁、浦野　文博

09:28～09:56　肝②

座長　トヨタ記念病院　消化器科　　村山　睦

86　ダクラタスビル＋アスナプレビル2剤併用療法 SVR 症例の臨床経過

中部ろうさい病院　消化器内科

○村瀬　賢一、寺島　佳奈江、春田　尚樹、龍華　加奈、柴田　寛幸、宿輪　和孝、児玉　佳子

87　比較的短期間に発生した A 型肝炎の4症例

若手（研修医）　[1]JA 愛知厚生連海南病院　消化器内科、[2]JA 愛知厚生連海南病院　腫瘍内科、[3]JA 愛知厚生連海南病院　病理診断科

○越山　彩香[1]、加賀　充朗[1]、山田　健太朗[1]、廣崎　拓也[1]、石川　大介[1]、國井　伸[1]、宇都宮　節夫[2]、石川　操[3]、渡辺　一正[1]、奥村　明彦[1]

88　経過中に急性発症型自己免疫性肝炎の合併を認めた原発性胆汁性胆管炎の1例

若手（専修医）　順天堂大学医学部附属静岡病院　消化器内科

○天野　希、廿樂　裕徳、玄田　拓哉、佐藤　祥、村田　礼人、冨嶋　享、佐藤　俊輔、金光　芳生、嶋田　裕慈、飯島　克順、永原　章仁

89　HBV、HCV 共感染に対して DAA 治療を行った2例

若手（専修医）　静岡市立静岡病院　消化器総合センター　消化器内科

○河合　歩、木村　領佑、早川　諒祐、杉本　崇宰、鈴木　博貴、近藤　貴浩、黒石　健吾、星野　勝一、濱村　啓介、田中　俊夫、小柳津　竜樹

09:56～10:31　肝③

座長　安城更生病院　消化器内科　　竹内　真実子

90　アルコール性肝障害を背景とした多発肝細胞癌と胆管細胞癌の異時性重複癌の1切除例

若手　[1]刈谷豊田総合病院　内科、[2]刈谷豊田総合病院　病理診断科
（専修医）　○三井　有紗[1]、仲島　さより[1]、浜島　英司[1]、中江　康之[1]、神岡　諭郎[1]、飛田　恵美子[1]、池上　脩二[1]、溝上　雅也[1]、恒川　卓也[1]、山本　怜[1]、竹内　一訓[1]、宮地　洋平[1]、井本　正巳[1]、伊藤　誠[2]

91　急速に増大し破裂した多発肝細胞癌の1剖検例

若手　[1]JA 愛知厚生連豊田厚生病院　消化器内科、
（専修医）　[2]JA 愛知厚生連豊田厚生病院　病理診断科
○森　悠[1]、長井　伸[1]、喜田　裕一[1]、岩下　紘一[1]、伊藤　裕也[1]、竹内　淳史[1]、森田　清[1]、都築　智之[1]、成田　道彦[2]

92　妊娠中に増大し出産後に縮小した肝限局性結節性過形成（FNH）の一例

[1]岐阜県総合医療センター　消化器内科、[2]岐阜県総合医療センター　臨床検査科、[3]関中央病院　内科
○入谷　壮一[1]、杉原　潤一[1]、清水　省吾[1]、永野　淳二[1]、林　完成[1]、山下　晃司[1]、小島　健太郎[1]、中西　孝之[1]、寺倉　大志[1]、安藤　暢洋[1]、岩田　圭介[1]、山崎　健路[1]、天野　和雄[2]、植松　孝広[3]

93　経皮的腫瘍生検によって診断しえた肝硬化性血管腫の1例

名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学
○安藤　祐資、石上　雅敏、武藤　久哲、横山　晋也、田中　卓、山本　健太、伊藤　隆徳、安田　諭、石津　洋二、葛谷　貞二、本多　隆、林　和彦、廣岡　芳樹、後藤　秀実

94　直腸癌肝転移に対する5-FU 投与中に肝性脳症を繰り返した一例

若手　小牧市民病院　消化器内科
（専修医）　○原田　雄太、宮田　章弘、平井　孝典、舘　佳彦、小原　圭、倉田　祥行、平松　健、古川　陽子

10:31～10:59　肝④

座長　藤田保健衛生大学　肝胆膵内科　　川部　直人

95　肝生検で診断した小細胞癌の1例

名古屋第一赤十字病院　消化器内科

○河村　達哉

96　進行性呼吸苦症状を呈し肝肺症候群と診断した肝硬変の一例

若手（研修医）　浜松医科大学医学部附属病院　肝臓内科

○加藤　大樹、山崎　哲、小林　良正、川田　一仁、千田　剛士、下山　真、太田　和義、伊藤　潤、松永　英里香、竹下　悠

97　肝内胆管癌との鑑別が困難であったIgG4関連肝炎症性偽腫瘍の一例

若手（研修医）　公立学校共済組合東海中央病院

○森崎　貴博、阿知波　宏一、片岡　邦夫

98　肺、肝病変を有する成人ランゲルハンス細胞組織球症（LCH）に対し禁煙が有効であった一例

[1]愛知県がんセンター中央病院　消化器内科、

[2]愛知県がんセンター中央病院　内視鏡部、

[3]愛知県がんセンター中央病院　遺伝子病理診断部

○伊東　文子[1]、原　和生[1]、水野　伸匡[1]、肱岡　範[1]、桑原　崇通[1]、奥野　のぞみ[1]、鳥山　和浩[1]、岩屋　博通[1]、倉岡　直亮[1]、松本　慎平[1]、小畑　雅寛[1]、安田　宗司[1]、栗田　裕介[1]、佐々木　英一[3]、谷田部　恭[3]、丹羽　康正[2]

10:59～11:34　肝⑤

座長　岐阜市民病院　中央検査部　　内木　隆文

99　肝サルコイドーシスの1例

若手　[1]刈谷豊田総合病院　内科、[2]刈谷豊田総合病院　病理診断科
（専修医）　○萩田　淳一郎[1]、仲島　さより[1]、浜島　英司[1]、中江　康之[1]、神岡　諭郎[1]、
飛田　恵美子[1]、池上　脩二[1]、溝上　雅也[1]、恒川　卓也[1]、山本　怜[1]、
竹内　一訓[1]、宮地　洋平[1]、井本　正巳[1]、伊藤　誠[2]

100　C-kit 陽性を呈した中間細胞型原発性肝癌の1例

若手　[1]市立四日市病院、[2]杉浦医院
（専修医）　○杉山　斉[1]、矢野　元義[1]、富永　晋太郎[1]、小嶋　健太郎[1]、三輪田　哲郎[1]、
熊谷　成将[1]、二宮　淳[1]、前川　直志[1]、杉浦　寧[2]、桑原　好造[1]、水谷　哲也[1]、
小林　真[1]

101　Fibrolamellar hepatocellular carcinoma の1例

[1]愛知県がんセンター中央病院　消化器内科、
[2]愛知県がんセンター中央病院　内視鏡部
○田中　宏樹[1]、肱岡　範[1]、水野　伸匡[1]、桑原　崇通[1]、奥野　のぞみ[1]、
田近　正洋[2]、田中　努[2]、石原　誠[2]、平山　裕[2]、大西　祥代[2]、鳥山　和浩[2]、
伊東　文子[1]、岩屋　博道[1]、倉岡　直亮[1]、松本　慎平[1]、小畑　雅寛[1]、
栗田　裕介[1]、安田　宗司[1]、丹羽　康正[2]、原　和生[1]

102　診断に苦慮した胆管浸潤を伴う肝細胞癌の一切除例

若手　豊川市民病院　消化器内科
（専修医）　○稲垣　勇輝、宮木　知克、小林　由花、的屋　奨、名倉　義人、柴田　俊輔、
岩井　朋洋、西　祐二、大山　展、佐野　仁、中村　誠

103　DAA 治療による SVR 後に肺転移のみ再発した肝細胞癌の1例

医療法人山下病院
○芳川　昌功、服部　昌志、松崎　一平、広瀬　健、泉　千明、江崎　正哉、
山内　浩揮、中澤　三郎

14:00～14:35　大腸①

座長　愛知医科大学　消化管内科　　小笠原　尚高

104　大腸がん検診で発見された転移性大腸癌の2例

稲沢市民病院　消化器内科

○小川　和昭、名倉　明日香、神田　信之、坂田　豊博

105　B細胞性悪性リンパ腫を併発した大腸印環細胞癌の一例

若手　愛知医科大学病院　消化管内科

（専修医）　○小野　聡、杉山　智哉、海老　正秀、春日井　邦夫、佐々木　誠人、小笠原　尚高、舟木　康、土方　康孝、河村　直彦、井澤　晋也、田村　泰弘、山口　純治、岡庭　紀子、郷治　滋希、足立　和規、下郷　彰礼、吉峰　崇、川村　百合加、林田　真由子、新村　哲也、福富　里枝子

106　化学療法にて縮小がみられた骨転移を伴った低分化型大腸癌の1例

若手　名古屋掖済会病院　消化器内科

（研修医）　○押谷　由衣、神部　隆吉、大橋　暁、岩田　浩史、水谷　佳貴、河合　学、佐橋　学、近藤　寛之、藤本　諒

107　下行結腸神経鞘腫の1例

若手　[1]安城更生病院　消化器内科、[2]安城更生病院　外科

（研修医）　○宇野女　慎二[1]、竹内　真実子[1]、鈴木　貴也[1]、近藤　重明[1]、安藤　雅能[1]、浅井　清也[1]、青木　聡典[1]、市川　雄平[1]、林　大樹朗[1]、鶴留　一誠[1]、岡田　昭久[1]、細井　努[1]、関　崇[2]、平松　聖史[2]、新井　利幸[2]

108　Inverted sessile serrated adenoma/polypの一例

岐阜大学医学部附属病院

○水谷　拓、三輪　貴生、手塚　隆一、佐竹　智行、松浦　加奈、渡辺　諭、大西　雅也、吉田　健作、小澤　範高、長谷川　恒輔、杉山　智彦、久保田　全哉、井深　貴士、白木　亮、荒木　寛司、清水　雅仁

14:35～15:10　大腸②

座長　刈谷豊田総合病院　内科　　浜島　英司

109　自然脱落した直腸ポリープの1例

愛知県がんセンター愛知病院　消化器内科
○野村　翔子、近藤　真也、側島　友、藤田　孝義

110　内視鏡切除で改善し得た巨大有茎性ポリープによる腸重積の一例

若手　名古屋セントラル病院
（研修医）　○服部　智仁、前田　俊英、濱崎　元伸、神谷　友康、吉村　透、安藤　伸浩、
川島　靖浩

111　直腸 ESD にて確定診断した MPS の1例

若手　社会医療法人宏潤会大同病院　消化器内科
（専修医）　○柳瀬　成希、白水　将憲、田島　万莉、金沢　哲広、水野　創太、南　正史、
宜保　憲明、榊原　聡介、菊池　正和、下郷　友弥、野々垣　浩二、印牧　直人

112　隆起型直腸粘膜脱症候群の1例

若手　[1]刈谷豊田総合病院　内科、[2]刈谷豊田総合病院　病理診断科
（専修医）　○福沢　一馬[1]、浜島　英司[1]、神岡　諭郎[1]、中江　康之[1]、仲島　さより[1]、
飛田　恵美子[1]、池上　脩二[1]、溝上　雅也[1]、恒川　卓也[1]、山本　怜[1]、
竹内　一訓[1]、宮地　洋平[1]、井本　正巳[1]、伊藤　誠[2]

113　直腸子宮内膜症の2例

若手　碧南市民病院　消化器内科
（専修医）　○中村　弘樹、長谷川　元英、三村　俊哉、杉浦　潤

15:10～15:52　大腸③

座長　浜松医科大学　内科学第1講座　　杉本　健

114　潰瘍性大腸炎術後に自己免疫性膵炎を発症した一例

[1]三重大学医学部附属病院　光学医療診療部、
[2]三重大学医学部附属病院　消化器肝臓内科
○奥瀬　博亮[1]、中村　美咲[2]、塩野　泰功[1]、三浦　広嗣[1]、作野　隆[2]、
竹内　俊文[1]、原田　哲朗[2]、山田　玲子[2]、井上　宏之[2]、葛原　正樹[1]、
濱田　康彦[1]、田中　匡介[1]、堀木　紀行[1]、竹井　謙之[2]

115　既存治療で効果不十分な潰瘍性大腸炎患者に対するゴリムマブ投与の4例

[1]名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学、
[2]名古屋大学医学部附属病院　光学医療診療部
○梶川　豪[1]、渡辺　修[1]、久野　剛史[1]、山田　啓策[1]、服部　峻[1]、石田　哲也[1]、
西川　貴広[1]、鈴木　悠土[1]、大塚　裕之[1]、内田　元太[1]、石川　恵里[1]、
水谷　泰之[1]、澤田　つな騎[1]、松浦　倫三郎[1]、丹羽　慶樹[1]、松下　正伸[1]、
山村　健史[2]、中村　正直[1]、廣岡　芳樹[2]、後藤　秀実[1]

116　当院における CD に対する IFX 倍量投与の治療成績

豊橋市民病院　消化器内科
○南　喜之、山田　雅弘、内藤　岳人、山本　英子、松原　浩、坂巻　慶一、
植月　康太、山本　崇文、松田　宜賢、田中　仁、高田　善久、浦野　文博

117　抗菌剤多剤併用療法が著効した潰瘍性大腸炎の一例

渥美病院　内科
○木下　雄貴、吉田　昌弘、山本　富美子、富永　雄一郎、長谷　智

118　当院における糞便移植療法の有効性と腸内細菌叢の変化

藤田保健衛生大学　消化管内科
○尾崎　隼人、城代　康貴、生野　浩和、吉田　大、前田　晃平、大森　崇史、
小村　成臣、鎌野　俊彰、山田　日向、内堀　遥、寺田　剛、河村　知彦、
堀口　徳之、大久保　正明、田原　智満、長坂　光夫、中川　義仁、柴田　知行、
大宮　直木

119　未分化型大腸癌を発症した若年潰瘍性大腸炎の1例

若手　　名古屋掖済会病院　消化器内科
（専修医）　○藤本　諒、神部　隆吉、大橋　暁、岩田　浩史、水谷　佳貴、河合　学、佐橋　学、
近藤　寛之

15:52～16:27　大腸④

座長　静岡市立静岡病院　消化器総合センター　消化器内科　　小柳津　竜樹

120　前日の上部消化管造影検査が契機となりＳ状結腸穿孔をきたしたと考えられるEhlers-Danlos 症候群の1例

若手　　刈谷豊田総合病院　内科
（専修医）　　○竹内　一訓、神岡　諭郎、浜島　英司、中江　康之、仲島　さより、
飛田　恵美子、溝上　雅也、池上　脩二、山本　怜、恒川　卓也、宮地　洋平、
福沢　一馬、井本　正巳

121　αグルコシダーゼ阻害薬中止により改善した腸管嚢胞様気腫症の2例

静岡市立静岡病院　消化器総合センター　消化器内科
○鈴木　博貴、木村　領佑、早川　諒祐、河合　歩、杉本　崇宰、近藤　貴浩、
黒石　健吾、星野　勝一、濱村　啓介、田中　俊夫、小柳津　竜樹

122　サンシシ含有漢方薬の長期内服者に発症した腸間膜静脈硬化症の1例

若手　　小牧市民病院　消化器内科
（専修医）　　○古川　陽子、宮田　章弘、平井　孝典、舘　佳彦、小原　圭、倉田　祥行、
平松　健

123　大腸 ESD における S-O clip の使用経験

大垣市民病院　消化器内科
○東堀　諒、熊田　卓、桐山　勢生、谷川　誠、久永　康宏、豊田　秀徳、
金森　明、北畠　秀介、多田　俊史、山　剛基、水野　和幸、犬飼　庸介、
佐久間　理香、三宅　望

124　経Ｓ状結腸的 EUS 下ドレナージが有効であった憩室穿孔後骨盤内膿瘍の1例

若手　　[1]愛知医科大学　肝胆膵内科、[2]愛知医科大学　消化器外科
（専修医）　　○北野　礼奈[1]、井上　匡央[1]、倉橋　真太郎[2]、小松　俊一郎[2]、小林　佑次[1]、
石井　紀光[1]、坂本　和賢[1]、大橋　知彦[1]、中出　幸臣[1]、角田　圭雄[1]、
伊藤　清顕[1]、中尾　春壽[1]、佐野　力[2]、米田　政志[1]

16:27～17:02　大腸⑤

座長　医療法人山下病院　消化器内科　　服部　昌志

125　劇症型アメーバ性大腸炎の1例

若手　[1]安城更生病院　消化器内科、[2]安城更生病院　外科
（研修医）　○尾崎　玄[1]、竹内　真実子[1]、鈴木　貴也[1]、近藤　重明[1]、安藤　雅能[1]、浅井　清也[1]、青木　聡典[1]、市川　雄平[1]、林　大樹朗[1]、鶴留　一誠[1]、岡田　昭久[1]、細井　努[1]、関　崇[2]、平松　聖史[2]、新井　利幸[2]

126　憩室性大腸炎と膀胱瘻を合併したＳ状結腸憩室の1例

国家公務員共済組合連合会東海病院　消化器内科
○末澤　誠朗、山田　健太、植月　有希子、田中　達也、北村　雅一、丸田　真也

127　腹水を伴った好酸球性腸炎の1例

若手　JA 愛知厚生連豊田厚生病院　消化器内科
（専修医）　○豊島　創、喜田　裕一、岩下　紘一、伊藤　裕也、竹内　淳史、森田　清、都築　智之

128　結核性子宮内膜炎に進展し腸切除を要した腸結核の1例

若手　豊橋市民病院　消化器内科
（専修医）　○樋口　道雄、山田　雅弘、浦野　文博、内藤　岳人、松原　浩、山本　英子、坂巻　慶一、植月　康太、南　喜之、山本　崇文、松田　宜賢、田中　仁、高田　善久

129　腹水中 ADA 活性の上昇を契機に診断に至った若年男性の結核性腹膜炎の一例

若手　岐阜県立多治見病院
（専修医）　○石原　亮、浦壁　憲司、貫井　嵩之、鬼頭　佑輔、蓑輪　彬久、鈴木　雄太、羽根田　賢一、福定　繁紀、尾関　貴紀、安部　快紀、塚本　宏延、水島　隆史、奥村　文浩